

ニュースの裏側
から知る!

地域に くらす 外国人のこと

日本に暮らす外国人の数は2015年12月31日現在、過去最高を記録しました。今年6月に閣議決定された「ニッポン一億総活躍プラン」によると、国は外国人労働者、外国人観光客に、経済成長の課題を解決する存在として期待を寄せているようです。その一方で、インターネットを中心に、マイノリティーに対する排他的な言動を目にすることがあります。

マジョリティーである日本人市民の温かい受け入れなくして、地域の国際化は進みません。地域にくらす外国人のことについて、話題になったニュースから学びます。



除草ヤギを盗んで食べた?!

新聞やテレビが報じない外国人労働者の真実

【講師】出井康博氏 (ジャーナリスト)

2017 国際理解講座

第1回 《定員40名》

1月22日(日)
13:30~16:00

大和市つきみ野学習センター 304会議室
(大和市つきみ野5-3-5)

- つきみ野駅から徒歩約7分
- 中央林間駅から徒歩約13分

第2回 《定員70名》

1月29日(日)
13:30~16:00

大和市スポーツセンター 2階会議室
(大和市上草柳1-1-1)

- 大和駅から徒歩約8分

【参加費】1回 300円 ※国際化協会賛助会員の方は無料



サッカースタジアムでバナナを 振り回すと無期限入場停止?!

【講師】陣野俊史氏 (文芸評論家)

申し込み
問い合わせ

公益財団法人 大和市国際化協会

〒242-0018 大和市深見西8-6-12 大和市役所第一分庁舎2階
(月曜~金曜 第1・3土曜 8:30~17:00)

TEL: 046-260-5126 FAX: 046-260-5127

Email: pal@yamato-kokusai.or.jp

URL: <http://www.yamato-kokusai.or.jp/>

サッカースタジアムでバナナを
振り回すと無期限入場停止?!

ニュースの裏側
から知る!

地域にくらす 外国人のこと

2017 国際理解講座

除草ヤギを盗んで食べた?!

新聞やテレビが報じない外国人労働者の真実

第1回

1月22日(日)
13:30~16:00

大和市つきみ野学習センター 304会議室
(大和市つきみ野5-3-5)

第2回

1月29日(日)
13:30~16:00

大和市スポーツセンター 2階会議室
(大和市上草柳1-1-1)

2014年8月、岐阜大学が除草用に飼育していたヤギを盗んで食べたとして、3人のベトナム人が逮捕されました。

在留ベトナム人の起こす犯罪は昨年、中国人を抜き外国人で最多を記録しました。背景にベトナム人労働者が全国で急増していることがあります。

アメリカ大統領選では「移民」が大きなテーマでしたが、今、日本政府も外国人労働者の受け入れを拡大しています。彼らの働く現場で一体何が起きているのでしょうか?

「ルポ ニッポン絶望工場」(講談社+α新書)の著者でジャーナリストの出井康博さんにお話いただきます。

【講師】出井 康博(いでい・やすひろ) ジャーナリスト



1965(昭和40)年、岡山県生まれ。早稲田大学政治経済学部卒。英字紙『ザ・ニッケイ・ウィークリー』の記者を経て独立。著書に、『松下政経塾とは何か』『長寿大国の虚構—外国人介護士の現場を追う—』(共に新潮社)『年金夫婦の海外移住』(小学館)などがある。

2014年8月23日、Jリーグ横浜マリノス対川崎フロンターレの一戦で、マリノスのサポーターが、フロンターレの外国人選手にバナナを振りかざすという人種差別行為を行ったとして無期限の入場停止処分を受けました。

あの当時、バナナを振りかざすことが人種差別であるとして知っていた人たちは、それほど多くはなかったのではないのでしょうか。

「サッカーと人種差別」(文春新書)の著者で文芸評論家の陣野俊史さんをお招きしてともに考えます。

【講師】陣野 俊史(じんの・としふみ) 文芸評論家



1961(昭和36)年、長崎県生まれ。文芸評論家。都内6つの大学でフランス文学やラップカルチャー、フットボールについての授業を持ちながら、様々な媒体への執筆活動も続ける。著書に『龍以後の世界』『じゃがたら』『渋さ知らズ』『フランス暴動』『世界史の中のフクシマ』『戦争へ、文学へ「その後」の戦争小説論』など。最新の著書は作家桐山襲の評伝である『テロルの伝説~桐山襲烈伝』(河出書房新社)。

